

11月23日 第10回水源食の文化祭 家庭料理が水源に大集合!

第10回水源食の文化祭が水源ふるさと交流館でありました。このイベントは、地域に残る食を見つめ直し、みんなで食べながら交流を深めようと毎年開催されています。会場には郷土料理や創作料理がずらりと並び、市内外から訪れた大勢の来場者が舌鼓を打ちました。熊本市から訪れた女性は「本当においしい。また来ます」と笑顔を見せました。



大勢の来場者でにぎわう会場。料理はあつという間になくなりました

11月22日 院の馬場ポケットパーク 還暦祝い樹木を寄贈

堀江清次郎さん(野間口)、村上勝さん(立町)、平田富人さん(高野瀬)の3人が院の馬場ポケットパークに樹木を寄贈しました。3人は同級生で、還暦の記念に市に何かできないかと考え今回の寄贈を決意。エゴノキ1本を植樹しました。

3人は「この木のようにもっともっと菊池市が伸びて欲しい」と話しました。寄贈ありがとうございました。



左から堀江さん、村上さん、平田さん

11月13日 第2次菊池市総合計画策定審議会 市一体のまちづくりを目指して

市は平成27年度からの第2次総合計画を策定しています。この審議会は、学識経験者や各種団体の代表者、一般公募者などの21人で構成され、昨年度から本年度まで6回の開催を予定しており、既に5回を終えました。新しい菊池市が誕生して10年目の節目に当たり、市一体となったまちづくりを目指し、市民目線、市民協働を推進していきます。



第5回の会議。活発な議論を交わしました

11月11日 域学連携事業 まちづくりワークショップ開催

田島地区活性化に向けたワークショップが田島二区公民館でありました。ワークショップには田島地区住民などが多数参加。熊本県立大学の柴田祐准教授や学生と一緒に、田島地区などの集落の良さや課題について意見を交わしました。参加した住民は「地区の魅力と課題をみんなで共有できてよかった。課題解決に向けて協力して取り組んでいきたい」と話しました。



たくさん意見を交わしました

11月27日 平成26年度熊本県文化財功労者表彰 赤星神楽連が県文化財功労者表彰

平成26年度熊本県文化財保護大会が八代市であり、赤星の赤星神楽連による子ども神楽の取り組みが熊本県文化財功労者表彰を受賞しました。赤星神楽連は平成15年度から子ども神楽に取り組み、地元の祭りなどで子ども神楽を披露しています。

子どもたちは神楽を通じて地域の歴史や文化を学び、後継者育成にもつながっている点が評価されました。



子ども神楽「詞掌舞」を披露

11月24日 菊池市総合防災訓練 大地震発生! 備えあれば憂いなし

菊池市総合防災訓練が七城公民館周辺で開催され、地域住民など約270人が参加しました。本市を震源とする震度6強の地震が発生した想定で訓練を実施。消防団による住民の避難誘導、安否確認、市職員による避難所の受入れ態勢の確認を行いました。

避難完了後は、起震車体験や煙体験ハウスなどで模擬体験し、地震の怖さを体感しました。



起震車体験で震度7の揺れを体験。

11月25日 (株)共同と市が包括連携 地域社会の発展と人材育成を図ります

本市と(株)共同(山下敏文社長)が包括連携協定を結びました。(株)共同は、平成24年度に七城町林原・蘇崎工業団地で操業開始。物流サービス業・食肉加工販売業を手掛けています。本年度中に「菊池ミートガーデン(仮称)」の建設を予定しており、直売所やワインナー作りの体験コーナーを設け、食育イベントを展開する予定です。地域農業の振興や障がい者雇用を推進していきます。



協定締結後に握手を交わす山下社長(左)と江頭市長(右)

11月16日 龍門ふるさとまつり 歩いて食べてふるさとを満喫

28回目の龍門ふるさとまつりが竜門ダムエントランス広場で開催されました。ステージイベントでは住民や学生がダンスや歌などを披露。ダイコンや米など地元の農産物の競り市や、旬を迎えたシイタケの無料試食会にぎわいました。

当日は竜門ダムウォーキング大会もあり、市内外から約300人が参加して、菊池の大自然を満喫しました。



多くの参加者でにぎわった競り市

12月2日 菊池米の新米を寄付 菊池のお米を一人でも多くの人へ

菊池市ブランドづくり実行委員会(木村利昭会長)が、菊池米の新米計260キロを菊池温泉おかみ湯恵の会と菊池市社会福祉協議会へ寄付しました。寄付したのは同委員会が主催した「第2回菊池米食味コンクール」に出品された新米。米どころ菊池のおいしい米を一人でも多くの人に届けたいとの思いで寄付しました。米は軽トラ朝市や、介護サービスに使っていただく予定です。



菊池温泉おかみ湯恵の会の川津悦子会長に新米を渡す木村会長

11月27日 第34回ダム建設功労者表彰 竜門倶楽部が功労者表彰

第34回ダム建設功労者表彰式が東京都であり、竜門倶楽部(緒方元一座長)が受賞しました。竜門倶楽部は環境保全や地域おこしなどを目的に平成16年度に設立。育樹や地域イベントの支援活動などを行っています。今回の表彰では、竜門ダムの周辺環境保全整備に著しく功績があったとして評価されました。緒方座長は「これからも地域活性化に取り組みたい」と話しました。



受賞報告のため市役所を訪れた竜門倶楽部の皆さん

11月22日 ラブベンチ除幕式 夫婦や恋人同士で座ってみませんか?

隈町の院の馬場ポケットパークに「ラブベンチ」が完成し、デザインコンテストの表彰式と除幕式がありました。「夫婦仲むつまじく座り憩う」をテーマに募集したコンテストには125点の応募があり、中川明夫さん(福岡市)の作品が最優秀賞を受賞。縦横約2mのコンクリート製で、内側が三日月のように見えるデザインになっています。



受賞者と製作に携わった関係者と記念撮影。夫婦の手紙コンクールで大賞を受賞した金丸美志子さん夫妻が座り初めました

11月22日 イノアック祭 地域と企業の親睦融和を促進

(株)九州INOAC(イノアック)は、昭和48年8月に本市の誘致企業第1号として菊池工業団地に設立されました。この祭は、地域住民やイノアックで働く社員とその家族の親睦融和を促進するために行われており、今年で15回目。会場には、おでんや焼きそば、地鶏焼きのほか、〇×クイズや早飲み競争などで盛り上がり、お互いの親睦を深めました。



地域住民と社員家族が交流を楽しみました

12月18日 現金を寄付
日本一の桜の里づくり寄付

徳永武久さん(熊本市)が、本市に現金20万円を寄付しました。徳永さんはこれまでの文化学術活動が認められ、(公財)信友社から信友社賞を受賞。その賞金の一部を菊池川沿いの桜並木の実現に役立ててほしいとの思いで寄付しました。昨年公演した市民劇菊池一族物語の脚本も執筆。市民劇の成功を喜びつつ、「桜並木同様、これからの菊池市は大いに期待が持てます」と語りました。



江頭市長(左)に寄付金を渡す徳永さん(右)

12月18日 ふれあい交流会
“ふれあい”でいつまでも元気に

菊池高齢者大学12月教養講座「ふれあい交流会」が、菊池市文化会館で開催されました。交流会には菊池女子高校社会福祉科の生徒13人と高齢者約50人が参加。俳句・カレンダー・入浴剤作り、輪投げや嚙下体操、ジュンベ同好会(アフリカの太鼓)による演奏と手話を交えた合唱などがあり、生徒との交流を楽しみました。会場は笑いと歓声に包まれ、笑顔あふれる講座となりました。



面白いカレンダー作り挑戦する参加者

12月7日 四季の里旭志
“クリスマスとお正月を楽しもう！”

ミニ門松、クリスマスリース・クリスマスケーキ作りが四季の里旭志であり、33人が参加しました。参加者は地元素材を使って思い思いの作品を制作。「楽しく作ることができました。2015年も良い年を迎えられそうです」と笑顔を見せました。

四季の里旭志の岩根俊哉事業課主任は「今後も地元の人と協働し、体験イベントを開催していきたい」と話しました。



地元の素材を使って制作したミニ門松

12月5日 菊池飛行場ミュージアム
市内で旧陸軍機の尾輪を発見

第2次世界大戦で使用された戦闘機の後部車輪(尾輪)が市内で見付かり、孔子公園にある菊池飛行場ミュージアムで公開されました。県内での尾輪の発見は初めて。直径20センチ、幅7.5センチでタイヤ部分に旧陸軍の星章があり昭和19年製と明記。「花房飛行場の戦争遺産を未来に伝える会」事務局長の小山内稔さんは「もしまさに資料などがあればぜひ情報提供してほしい」と話しました。



尾輪を説明する「くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク」の高山谷和生事務局長。情報提供は090(8227)6311 小山内さんまで

12月20日 きくち情報案内人講座
情報ツールの活用法を学びます

第3回きくち情報案内人講座が松倉邸内の「きくちラボ」で開催されました。市民や学生など約20人が参加。熊本学園大学経済学部 境章教授と学生ボランティアが講師となり、スマートフォンやタブレットなどで使うさまざまな情報ツールについて学習します。

第3回となる今回は、ビデオチャット、健康管理アプリについて学び、体験しました。



学生ボランティアからアプリの使い方を学ぶ参加者

12月19日 年末年始特別警戒活動出発式
安全で安心なまちづくり

菊池警察署で年末年始特別警戒活動出発式が行われました。菊池警察署員のほか菊池市防犯協会、菊池市交通安全協会の会員など約50人が出席。西村一弥署長が「安全で安心なまちづくりは地域の協力があるこそ。地域と署員が一丸となって警戒を強化しましょう」とあいさつしました。

式典に引き続き、菊池管内のパトロールや交差点での警戒活動を行いました。



警戒活動へ出発するパトカーを見送る出席者

12月13日 第7回菊池ふるさとかるた大会
かるたでふるさとの歴史を学習

菊池ふるさとかるた大会が菊池市文化会館小ホールで開催されました。市内小学校10校から37チーム111人が出場。低学年と高学年に分かれて熱戦が繰り広げられました。上位の結果は次のとおりです。

- 高学年の部
- 優勝 隈府小B
- 2位 菊池北小B
- 3位 泗水小A
- 低学年の部
- 優勝 菊之池小A
- 2位 旭志小B
- 3位 旭志小A



素早い動きでかるたに手を伸ばす子どもたち

12月8日 菊池温泉で入浴体験
お風呂のマナー覚えてよ!

菊池さくら保育園の年長児17人が市内の温泉旅館で入浴体験をしました。小さいときから温泉に慣れ親しんでもらおうと、菊池温泉観光旅館協同組合(岩永誠組合長)が昨年からの実施しています。園児たちは「体を洗って入る」「もぐって遊ばない」「走らない」など紙芝居で入浴マナーを学習した後、温泉に入浴。「とても気持ち良かった。ちゃんとマナーを守ります」と笑顔で話しました。



マナーを守ってお風呂を楽しむ園児たち

12月・1月 宝くじ助成金事業
宝くじ助成事業で3地区に区用備品を整備

コミュニティの健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業により、妻越区にワイヤレス放送設備、稗方区に神楽狩衣、神楽袴などのコミュニティ活動備品が整備され、岩本区にコミュニティセンター(岩本区公民館)が建設されました。

コミュニティ助成事業は、宝くじ社会貢献広報事業費を財源として財団法人自治総合センターが助成決定を行うものです。今後の3地区のますますの活性化が期待されます。



岩本公民館



1. 稗方区に整備された備品 2. 妻越区に整備されたワイヤレス放送設備 3. 岩本公民館に整備された備品とステッカー

12月17日 菊池女子高でお茶会
礼儀正しく「お手前ちょうだいします」

菊池女子高で、菊池第2さくら幼稚園の年長児を招いてお茶会が開かれました。同校の授業の一環で行われており、今回は近くの仮園舎にいる園児らと交流を深めようと開催しました。生徒がお手前を披露すると、園児らは姿勢を正して「お手前ちょうだいします」とあいさつ。古江海陸くんは「苦かったけど温かくておいしかった」と話しました。



女子高生からのお茶の振る舞いを礼儀正しく待つ園児たち

12月15日 秋の叙勲
小川繁美さんが「旭日双光章」を受章

隈府在住の小川繁美さん(86)が「旭日双光章」を受章しました。今回の叙勲は、6期約22年にわたり旧菊池市議会議員として市政の発展と福祉の向上に貢献された「地方自治功労」が認められたことによるものです。

小川さんは、農家所得の向上や市民の快適な生活環境の整備などに大きな功績を残しています。



受章した小川さん(左) 江頭市長(右)を受章を報告しました